

小学校
校内研修

ICT活用・普及のための校内研修

大崎市立大貫小学校 教諭 佐藤 弘子

1. 研修の概要

研修名 フラッシュ型教材を活用した授業づくり研修会

研修の目標

- (1) フラッシュ型教材等を活用した授業のビデオを見たり模擬授業を子ども役で体験したりすることで、コンピュータを活用した教材にはさまざまな種類があることを知り、教材の活用方法のイメージをもつ。
- (2) フラッシュ型教材等を活用する際の指示や言わせ方、活用のコツを整理し、日常的な活用につなげる。

準備物 研修用スライド、研修進行用資料、PC（進行用・研修者用）
プロジェクタ、PC用スピーカー

研修の展開

時間	段階	活動の内容
2分	研修のねらいと進め方の確認	・研修のねらいと進め方を把握する。
5分	[導入] 知識・技能定着のためのICT活用	・ICT活用が授業改善や学力向上にどんな効果があるのか、その概要を理解する。
5分	[体験] 子ども役で体験	・フラッシュ型教材を子ども役で体験し、グループで感想を共有することで教材活用のイメージをもつ。
15分	[研修1] フラッシュ型教材の活用場面の検討	・フラッシュ型教材の分類を知り、どのような指導場面で活用できそうかグループごとに検討する。
		・2パターンの活用例（ビデオ）を比較しながら話し合い授業場面ではどのような活用が望ましいか検討する
15分	[研修2] フラッシュ型教材・活用のコツの整理	・教師の指示や説明、言わせ方、活用のコツ、教材例についてまとめる。
15分	[研修3] フラッシュ型教材のダウンロード・閲覧の体験	・フラッシュ型教材紹介サイトにアクセスする。 → http://eteachers.jp/ ・ダウンロードした教材を各グループで紹介し合う。 ・関連教材として「観光立国検定サイト(宮城版)」を知る。 → http://www.hirama.net/kentei/tourism/miyagi/
3分	まとめ	・研修ねらいを確認し、本研修をまとめる。 ・フラッシュ型教材等を活用した授業実践を促す。
研修後	事後アンケート	・研修を振り返り、アンケートに答える。

2. 研修のポイント

・研修の準備

研修は研究主任が進めた。進行用のスライドと台本があったので、準備時間がなかなか取れない現状の中でも負担感が少なく研修を実施することができた。研修パッケージが有効だった。

・研修の進め方

最初に研修のねらいと進め方を説明したので、ゆとりをもって研修に参加できた。また、1時間という研修時間も適当であった。

教材を子ども役で体験したり、教師として活用例をグループで話し合ったりなどの体験が苦手意識を払拭できた。

研修の中でフラッシュ教材（※参照）をダウンロードしたことも活用しようとする意欲づけになった。

・フラッシュ型教材の紹介

ワークショップ型の研修だったので、コンピュータを活用した教材にはさまざまな種類があることが分かり、教材の活用方法の具体的なイメージをもつことができた。

※ <http://eteachers.jp/> : フラッシュ型教材の他、研修パッケージやリーフレットを無償提供している。メールにて、研修用IDの発行を申請可能。



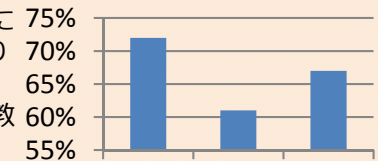
3. 受講者の声

・短時間で集中して基礎・基本の定着を図ることができると感じた。

・多様な教材が考えられるし、活用も多様に
できるだろう。今後自分も使えるようになり
たい。

・子どもたちは、このようなフラッシュ型教材で意欲的に授業に取り組むようになると
思った。

・研究主任として、現職教育で即授業に役立つ研修ができてよかった。さらに、もう少し時間が取れる時期に、実際にダウンロードしたものを
見あう時間を確保したいと思った。



研修会全体
教材の活用
今後の取組
〈アンケートでA評価した割合〉